

- 9. 方形周溝墓 (ほうけいしゅうこうぼ)
- 1) 弥生時代の前期中頃に出現したとされている墓形です。
- 2) 100 基以上発見しています。

安満遺跡の方形周溝墓が並ぶ墓域、

- 土坑・木棺墓跡及び組合せ式木棺と乳幼児用と見られる土器棺。
- 度重なる洪水により、水田域には砂礫が堆積し、地形が変わって しまったことから、水田に代わって墓地を造った。
- 方形周溝墓が 12 基、木棺墓 2 基、土器棺墓 2 基などが見つかっている。
- 土器棺墓は、壷を逆さにして棺とし利用している。内部には石斧が 納められていた。
- 組合せ式の木棺の側板や小口板の痕跡が確認できた。



方形周溝墓に供えられた土器



発見された方形周溝墓



コウヤマキで作られた棺